

21

日々

祈りと断食の



導入

21日間、ヨハネ17章にあるイエスの祈りに浸ってみてください。

この章を定期的に読んでください。その一部を暗記することを検討することもできます。そして、祈りの指示に従い、毎日祈りましょう。一緒に主の御顔を求め、私たちが見て知り、主の栄光に正しく応答できるようにお願いしましょう。また、私たちはこの時間を利用して、友人や家族を聖金曜日と復活祭の礼拝に招待する私たちの努力を祝福してください。よう神に祈りたいと思っています。

「イエスはこれらの言葉を語り終えると、目を天に上げて言われた、『父よ、時が来ました。父よ、時が来ました。父よ、父よ、その時が来ました』。御子があなたに栄光をもたらすように、あなたの御子に栄光をもたらささい。」 - ヨハネ 17:1 (ESV)

神の栄光が現されました。イエスは父の栄光を私たちに明らかにするために来られました。しかし、それは私たちがそれを見るためだけではありませんでした。イエスは私たちが御父の心を知り、信頼できるようにするために来られました。彼が来られたのは、神の栄光を見て、私たちが栄光の王に降伏と愛をもって応えるためでした。彼は私たちが礼拝者になるために来ました。パウロは、私たちに「イエス・キリストの御顔における神の栄光を知る光」（Ⅱコリント4:6）が与えられていると語ります。それでイエスは地上での生涯の終わりが近づいたとき、神の栄光のこの啓示が完全に効果を発揮するようにと祈りました。ヨハネ17章は、聖書に記録されているイエスの最も長い祈りです。そしてイエスが祈ったように、私たちも祈りたいと思います。

参加方法

参加方法

祈り方

祈りは霊的な呼吸であり、私たちが弟子として成長するために不可欠です。神の言葉を黙想するとき、私たちは神の約束と目的を吸い込みます。祈りの中で、私たちも息を吐きながら、私たちへの神の言葉に応えます。このガイドでは毎日、ヨハネ 17 章の一節と、祈りのガイドとなるいくつかの祈りの答えが掲載されています。21日間を通して、あなたは自分の人生の特定の分野、私たちの教会、そして私たちの使命のために祈ることになります。私たちと私たちの教会に対する神の約束を信頼して、一緒に信仰を行動に移しましょう。以下は、このガイドを最大限に活用するための役立つヒントです。

- 毎日特定の時間を祈りに充てるようにしましょう。気を散らすことなく、神と二人きりになれる場所を見つけてください。
- このガイドにある祈りのポイントと聖句を活用して、祈りに集中し、エネルギーを与えてください。聖句と祈りのポイントをカードに書いて持ち歩き、ソーシャルメディアに投稿し、携帯電話のスクリーンセーバーにするなど、これらのメッセージを目の前に保つために思いつく限りのことを何でもしてください。一日中それを使い、他の人たちも祈りに参加するよう誘ってください。
- 毎日の祈りを日記に書き、所定のスペースに祈りを書き出すだけで、さらに一歩進めることができます。これは、自分が何を祈っているかを記録し、戻って神が祈りに応えてどのように働いているかを確認する素晴らしい機会です。
- さらに、この季節に他の人と一緒に祈る方法を検討してもよいでしょう。友人や小グループのメンバーとの Zoom 通話を設定します。家族として一緒に祈りましょう。
- 瞑想する - これはイエスの言葉です。ただ読んで先に進むものではありません。心の中でそれらをよく調べてください。あなたの心に染み込ませてください。救い主の祈りを深く考えながら、聖霊に話しかけてください。

参加方法

断食の方法

なぜ断食するのでしょうか？簡単に言うと、断食の目的は、世俗的なことから離れ、私たちの思いと心を完全に神に向けることです。それは神を操作したり、私たちの祈りを聞いて答えるよう強制したりする方法ではありません。むしろ、それは私たちが彼に完全に依存していることを認めています。断食は、私たちがしばしば肉の欲望や食欲によって動かされているという現実を目覚めさせます。それは私たちに謙虚にし、神への大きな必要と信頼に目覚めさせます。断食を検討する際には、聖霊の声に耳を傾けるようお勧めします。神の顔を求めるこの時期にあなたを導いてくださるよう神にお願いしてください。一日、数日間、あるいは21日間ずっと断食することを選択するかどうかに関係なく、重要なのは、新たな方法で自分を謙虚にし、神に近づくことです。何を選択できるかについては、次のようなアイデアがあります。

- 食事から特定のものを排除する選択的断食を選択することもできます。果物と野菜だけを食べる、いわゆる「ダニエル断食」は、このタイプの断食の一例です。
- もう一つの選択肢は、毎日一定期間食事を控える部分断食です。断食を1回の食事から行うことも、日の出から日没まで行うこともできます。
- 特定の日または長期間、食事を控えて液体だけを飲むという完全な断食をするよう促されていると感じる人もいるかもしれません。
- 食べ物を断食することが不可能な場合は、ソーシャルメディア、テレビ、または特定の時間または特定の活動での携帯電話からの断食など、他の何かを断食するように主に導かれていると感じるかもしれません。

参加方法

ジョン 17 (ESV)

イエスはこれらの言葉を語り終えると、目を天に上げてこう言われました。2 あなたが彼に与えたすべての人に永遠の命を与えるために、あなたはすべての肉を支配する権威を彼に与えたのですから。3 そして、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知ること、これが永遠の命です。4 私はあなたが私に与えてくださった仕事を成し遂げて、地上であなたの栄光を讃えました。5 そして今、父よ、この世が存在する前に私があるあなたとともに持っていた栄光をもって、あなたの御前で私に栄光を与えてください。6 「私は、あなたが世から私に与えてくださった人々にあなたの御名を現しました。彼らはあなたのもので、あなたが私にくれたもので、彼らはあなたの約束を守ってくれました。7 今、彼らは、あなたが私に与えてくださったものはすべてあなたからのものであることを知りました。8 あなたが私に与えてくださった言葉を、私は彼らに伝えました。そして彼らはそれを受け入れ、私があるあなたから出たものであることを真実に知ったのです。そして彼らはあなたが私を遣わしたと信じています。9 私は彼らのために祈っています。私は世界のために祈っているのではなく、あなたが私に与えてくださった人々のために祈っています。彼らはあなたのものだからです。10 私のものはすべてあなたのものであり、あなたのものは私のものであり、私はそれらによって栄光を受けています。11 そして、わたしはもうこの世にはいませんが、彼らは世にいるので、わたしはあなたがたのところに行きます。教皇よ、私たちが一つであるように、彼らも一つとなるように、あなたが私に与えてくださったあなたの御名によって彼らを守ってください。12 私は彼らと一緒にいる間、あなたが私に与えてくださったあなたの名のもとに彼らを守りました。聖書が成就するように、わたしは彼らを守りましたが、滅びの子を除いて一人も失われていません。13 しかし今、わたしはあなたがたのところに行き、これらのことをこの世で話しています。それは、彼らがわたしの喜びを自ら満たしてくれるようにするためです。14 わたしはあなたの言葉を彼らに伝えましたが、わたしが世のものではないのと同じように、彼らも世のものではないので、世は彼らを憎んだのです。15 わたしがお願いするのは、彼らを世から取り除いてくださることではなく、彼らを悪しき者から守ってくださることです。16 私が世のものではないのと同じように、彼らも世のものではありません。17 真理によって彼らを聖別してください。あなたの言葉は真実です。18 あなたが私を世に遣わしたように、私も彼らを世に遣わしました。19 そして、彼らのために、私は彼らも真理において聖化されるように、自分自身を聖別します。

参加方法

ジョン 17 (ESV) (続き)

20 「わたしはこれらのことだけを求めているのではなく、彼らの言葉によってわたしを信じる人たちにも求めています。 21 父よ、あなたがわたしのうちにおられ、わたしもあなたの中におられるように、彼らもみな一つになりますように。あなたが私を遣わしてくれたと世界が信じるように、私たちの中にいてください。 22 あなたが私に与えてくださった栄光を、私が彼らに与えたのは、私たちが一つであるように、彼らも一つになるためです。 23 わたしは彼らの中にいて、あなたが私の中にいて、彼らが完全に一つになるためです。そうすれば、あなたが遣わされたことを世が知ることができます。あなたが私を愛したように、私も彼らも愛しました。 24 父よ、あなたがわたしに与えてくださった彼らも、わたしのいるところにおいて、天地の基が置かれる前にわたしを愛してくださったためにわたしに与えてくださったわたしの栄光を見ることができるようにと願っています。 25 ああ、義なる父よ、世はあなたを知りませんが、私はあなたを知っており、彼らはあなたが私を遣わされたことを知っています。 26 わたしはあなたの御名を彼らに知らせました。そして、あなたがわたしを愛してくださった愛が彼らのうちにあるように、そしてわたしも彼らのうちにあるように、これからも知らせ続けます。」

週

1

自分自身、友人、家族のために
祈る

21

日々

1日目

1節: 「イエスはこれらの言葉を語り終えると、目を天に上げて言われた、『父よ、時が来ました。御子があなたに栄光をもたらすように、あなたの御子に栄光をもたらさなさい。』」

父親。イエスは神を父と呼びました。息子や娘として、私たちには同じ特権があります。コリント第二1章3節には、「私たちの主イエス・キリストの父なる神」は、いつくしみの父であり、あらゆる慰めの神であると記されています。今日、この素晴らしい真理を喜び、神の憐れみと恵みを叫び求めてください。

1. イエスを信じる信仰によって、あなたはイエスの弟子となったことを神を讃美しましょう。あなたは今、お父さんに愛され、大切にされている、彼の大切な子供です。
2. あなたに対する彼の忠実さを思い出し、あなたの人生における過去の慈悲に感謝してください。
3. 今日、どこに慈悲と恵みが必要ですか？あなたの父に、あなたの善意と憐れみを注いでください。
4. グッドフライデーとイースターのサービスに参加してくれる家族や友人を誰に招待できますか？

2日目

1節: 「イエスはこれらの言葉を語り終えると、目を天に上げて言われた、『父よ、時が来ました。御子があなたに栄光をもたらすように、あなたの御子に栄光をもたらさなさい。』」

父よ、その時が来ました。イエスは、これがご自分が地上に来た理由であることを認識されました。これは私たちの救いのために独り子を犠牲にするという神の主権的な計画でした。ゲツセマネの園で、イエスは再びこう祈りました。「父よ、できればこの杯を私から過ぎ去らせてください。しかし、わたしの思いのままではなく、あなたの思いどおりになさい」(マタイ 26:39)。イエスは御父の御心に身を委ねました。

1. イエスがあなたの救いのために進んで命を捨ててくださったことに今日感謝しましょう。
2. 今日は何が必要ですか?ご自分の独り子を惜しまなかった方は、すべてのものを惜しみなく私たちに与えてくださることを知って、あなたを養ってくださるようお願いしてください(ローマ8:32)。
3. 今日、イエスの模範に従い、福音のために自分の命を犠牲にする必要があるのはどこでしょうか?自分を否定し、イエスの弟子として従うよう神に導いてください。
4. マイルシティのグッドフライデーとイースターに他の人を招待する機会を与えてくださるよう神にお願いしてください。

3日目

1節: 「イエスはこれらの言葉を語り終えると、目を天に上げて言われた、『父よ、時が来ました。御子があなたに栄光をもたらすように、あなたの御子に栄光をもたらしなさい。』」

御子があなたに栄光をもたらすように、あなたの御子に栄光をもたらしなさい。イエスはご自分のために栄光を求められたのではありません。彼は自分の生と死と復活が父に栄光をもたらすことを望みました。私たちの人生は御父に全託して生きましたが、その結果として御父の栄光が見られることになるはずですよ。ヨハネ 15:8 でイエスは、「あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子であることを証明することで、わたしの父は栄光を受けるのです」と言われました。

1. 自分自身に注目を集め、自分の栄光を求める誘惑に駆られている場所を告白してください。
2. 他の人が神の栄光を見て知ることができるように、どこでどのように命を捧げるべきかを聖霊が教えてくださるよう祈ってください。
3. 他の人があなたの証しで神の栄光を見ることができるように、特定の関係においてあなたに好意を与えてくださるよう神に願いましょ。
4. マイルシティに招待した人たちをご自身のもとに引き寄せるために、あなたの証しを用いてくださるよう神に願ひ続けてください。

4日目

2節：「あなたは彼にすべての肉なる者を支配する権威を与えたのですから、あなたが彼に与えたすべての人に永遠の命を与えるのです。」

あなたは彼にすべての肉に対する権威を与えました。父はすべてをイエスの足下に置きました。何も、そして誰も彼の権限の外にはいません。マタイ 28:18-19 でイエスはこう言われました。「天と地におけるすべての権威がわたしに与えられています。「だから行って、弟子を作りなさい...」弟子として、また弟子を作る者として、私たちの使命と成功はその権威にかかっています。

1. 今日、神に敵対するものは何もなく、あなたに対する御父の目的と計画を妨げることができないことを神を讃美しましょう。
2. 恐れや不安からあなたを解放し、救い主の主権ある善に対する自信と希望を与えてくださるよう神にお願いしてください。
3. あなたの人生を通してご自身に栄光をもたらすという神の主権的な計画に身を委ね、信仰においてどこに踏み出すべきかを御父に教えてください。
4. あなたの家族や友人の人生に神が働いてくださるよう、彼らの名前を呼んで祈りましょう。

5 日目

2－3節: 「あなたは彼にすべての肉なる者に対する権威を与えたのですから、あなたが彼に与えたすべての人に永遠の命を与えるのです。そして、彼らが唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知っていること、これが永遠の命なのです。」

あなたが与えたすべての人に永遠の命を与えるためです。このことをよく理解してください。御父はあなたを愛し、あなたを選び、あなたを呼んでくださいました。エペソ人への手紙1章4－5節にはこう書かれています。神は愛をもって、イエス・キリストを通して私たちをご自身の息子として養子縁組するようあらかじめ定めてくださったのです。」そのおかげで、私たちは神の内にとどまり、神を知る特権と喜びを得ることができます。

1. 今日、御父がイエス・キリストという姿であなたにご自身を現してくださったこと、そしてイエスへの信仰によってあなたを死から命に導き入れたことに感謝してください。
2. 神があなたに知恵と啓示の霊を与えて下さり、あなたが神をよりよく知り(エペソ1:17)、弟子として成長するにつれて神をもっと楽しめるように祈ってください。
3. 神を知る必要があるあなたの心に、神は誰を置いたのでしょうか？彼らの名前を呼び、聖霊の力で彼らを愛し、イエスを大切にする方法で彼らと分かち合えるように祈ってください。

6日目

3節：「そして、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知ること、それが永遠の命なのです。」

あなたが遣わしたイエス・キリスト。イエスは救いと救いのために御父によって遣わされました。彼は自分のことを知り、知らせるために私たちを呼びに来ました。ヨハネ 20:21でイエスは、「父がわたしを遣わされたように、わたしもあなたがたを遣わします」と言われました。イエスの弟子たちは弟子を作る者として召され、遣わされています。

1. 今日、イエスとともに歩み、イエスを知り、イエスを他の人に知らせることの特権を与えられた神を賛美しましょう。
2. あなたが証人としてどこに、誰に送られるのかを父に教えてください。彼があなたに命じたところならどこにでも行き、彼があなたに命じたことは何でもするというあなたの意欲を再確認してください。
3. 聖霊が他の人たちにイエスに従うよう呼びかけ、キリストの弟子として歩むよう助けてくださるよう祈ってください。
4. 聖金曜日と復活祭に祈り、一緒に座るために他の人を招待する際に、その効果を活用できるように神に助けを求めてください。

7日目

4節：「私はあなたが私に与えてくださった仕事を成し遂げて、地上であなたの栄光を讃えました。」

私は地上であなたの栄光を讃えました。イエスは自信を持って父に、「私は地上であなたの栄光を讃えました」と言うことができました。イエスは十字架の上から「終わった」と叫ばれました。任務完了。彼はあなたと私を救うために必要なことはすべて行いました。コロサイ1：13-14はこう述べています。「神は私たちを暗闇の領域から救い出し、愛する御子の王国に移してくださいました。その御子によって私たちは贖い、つまり罪の赦しを得ます。」御父は御子の完成した働きによって栄光をお受けになります。

1. イエスへの信仰によって得た救いに対する喜びと感謝を表現してください。福音を自分の心の奥深くに押し込んでくださるよう神にお願いしてください。
2. あなたはまだ救いを得ようとする傾向がどこにありますか?すべての独善を告白して悔い改め、イエスの恵みに寄りかかりましょう。
3. 福音の輝かしい良いたよりをまだ信じていない友人や家族のために祈ってください。あなたを神の救いの力の忠実な証人にしてくださいよう神にお願いしてください。最初のステップとしては、イースターの礼拝に招待する機会を探すことです。

週

2

私たちの教会のために祈る

21

日々

8日目

6節：「わたしは、あなたが世から与えてくださった人々にあなたの御名を現しました。彼らはあなたのもので、あなたが私にくれたもので、彼らはあなたの約束を守ってくれました。」

私はあなたが私に与えてくださった人々にあなたの名前を明らかにしました。イエスは私たちに御名の栄光を示し、救いの道を明らかにするために来られました。使徒言行録4章12節には、「そして、他の誰にも救いはありません。なぜなら、私たちが救われるために天の下で人間の間と与えられた名前は他にないからです。」とあります。神の恵みにより、私たちはその名前を知り、信じています。

- 1.主イエス・キリストの御名を信じたマイルシティの兄弟姉妹、家族の皆さんに感謝してください。
- 2.私たちを愛し、私たちの救いのためにご自身を捧げてくださった方への信仰によって生きる私たちに、ご自分の民を自信で満たして下さるよう神にお願いしてください。
- 3.私たちが喜びに満ちた礼拝者となり、イエスの御名を上げ、他の人たちに信じて救われるよう呼びかけることができるように祈ってください。
- 4.聖金曜日と復活祭の礼拝を主導し、主の御名に名誉をもたらす人々を奮い立たせてください。

9日目

6節：「わたしは、あなたが世から与えてくださった人々にあなたの御名を現しました。彼らはあなたのもので、あなたが私にくれたもので、彼らはあなたの約束を守ってくれました。」

彼らはあなたのもので、あなたが私にくれたもので、彼らはあなたの約束を守ってくれました。私たちに対する神の言葉、神の呼びかけは、イエスが私たちを贖うために来られた神の子であると信じることです。ヨハネ 1:11-12 にはこう書かれています。しかし、彼を受け入れた人、彼の名前を信じた人すべてに、彼は神の子となる権利を与えました。」私たちは神の御言葉への信仰によって神の子供です。

1. 今日、あなたが信仰を通して恵みによって救われたことを思い出し、この貴重な賜物に対する喜びを神に表現してください。
2. マイルシティの次世代に御自身を現し、御名を信じ御言葉を信頼することによって弟子となるよう神に呼びかけてください。
3. イースターの週末に、私たちの次世代をリードする学生と子供たちを元気づけましょう。
4. 家族の一員として、イエスへの信仰によって歩み続けるようお互いに励まし合う忠実でいられるように祈ってください。

10日目

8節：「あなたが私に与えてくださった言葉を私は彼らに伝えました。そして彼らはそれを受け入れて、私があるあなたから出たものであることを真実に知るようになりました。」そして彼らはあなたが私を送ってくれたと信じています。」

彼らはそれを受け取り、私があるあなたから来たことを真実に知るようになりました。弟子たちはイエスの話したことが真実で正しいことを知っていました。ヨハネ 6:68-69 でシモン・ペテロはイエスにこう告白しました。「あなたは永遠の命の言葉を持っています。私たちはあなたが神の聖者であることを信じ、知りました。」ああ、イエスを信頼する喜び、命の言葉である御方を知り信じる喜び。

1. イエスがあなたに証しし、あなたを福音の真実を信じるように導いてくれた人々に感謝してください。
2. マイルシティにいるあなたの家族が福音への感謝の気持ちで満たされ、私たちが大胆に他の人に信仰を呼び掛けることができるように神にお願いしてください。
3. 周りの人たちに証言する機会に注意を向けるよう神にお願いしてください。弟子を作る弟子となる勇気と大胆さを求め、聖金曜日と復活祭と一緒にいるように他の人を招待してください。

11日目

9節: 「私は彼らのために祈っています。私は世界のためではなく、あなたが私に与えてくれた人々のために祈っています、彼らはあなたのものだからです。」

私は彼らのために祈っています。 ...それはあなたのものだからです。イエスは、救い、救い出すために来た弟子たちのために祈りました。彼は彼らの繁栄と忠実さに尽力しました。テトス 2章14節には、イエスは「あらゆる不法行為からわたしたちを救い出し、善行に熱心な民をご自分の所有物として清めるために、わたしたちのためにご自分をささげられた」とあります。

1. 今日、神がご自分のものとして召し、ご自分の血によって彼らを贖ってくださった私たちの教会の家族全員に感謝を捧げましょう。
2. わたしたちに代わってキリストが十分に働いてくださることを信頼するよう、わたしたちが忠実に互いに励まし合うことができるように祈ってください。
3. 私たちをキリストにある兄弟姉妹のためにひざまずいて戦う忠実な祈りの戦士にしてください。神にお願いしてください。

12日目

11節：「そして、私はもうこの世にはいませんが、彼らはこの世にいますので、私はあなたがたのところに行きます。教皇よ、私たちが一つであるように、彼らも一つとなるように、あなたが私に与えてくださったあなたの御名によって彼らを守ってください。」

お父さん、あなたの名前で保管してください。彼は私たちを守ってくれます。彼は私たちを支えてくれます。ユダ 1:24 はこう述べています、「さて、あなたがつまずかないようにし、大いなる喜びをもって、あなたを罪のない状態でご自身の栄光の御前に差し出すことができる方に……」 救いの御業は、最初から最後まで、主のものです。。

1. 神のすべての約束が成就するのを私たちが待ち望んでいる間、マイルシティの神の民が喜びで満たされるように祈ってください。
2. あなたの周りで信仰を貫くのに苦労しているかもしれない人々のために祈ってください。彼らの闘いにどのように寄り添うかを神に教えてもらいましょう。
3. 牧師とスタッフが疲れることなく、福音にふさわしい生き方をできるように祈ってください。

13日目

11節：「そして、私はもうこの世にはいませんが、彼らはこの世にいますので、私はあなたがたのところに行きます。教皇よ、私たちが一つであるように、彼らも一つとなるように、あなたが私に与えてくださったあなたの御名によって彼らを守ってください。」

私たちが一つであるように、彼らも一つになれるように。イエスは、ご自分と御父が味わったような一致を弟子たちに求めておられました。しかしイエスは、そのような一体性を実現するには、私たちの生活と同じように、彼らの生活にも父の働きが必要であることを知っていました。そしてイエスが祈ったことを私たちは追い求めるべきです。コリント人への第一の手紙 1章 10節にはこうあります。「兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの御名によって、あなたがたにお願いします。あなたがた全員が同意し、あなたがたの間に分裂がなく、同じ思いで団結してください。」同じ判断だ。」

1. 私たちの教会の多様性の中の一致を祈ってください。家族の一員としての私たちの一致が、福音の和解の力に対する注目に値する証しとなるよう神にお願いしてください。
2. 恨み、許しがたいこと、分裂、偏見、プライド、利己主義、その他私たちを分断する可能性のあるものを根絶して下さるよう神にお願いしてください。
3. 橋を架け、分断を越えるための取り組みに取り組めるよう、神が具体的な方法であなたを導いて下さるよう祈りましょう。グッドフライデーやイースターに誰かを招待するには、どの橋を渡ればよいでしょうか？

14日目

13節：「しかし今、わたしがあなたがたのところに来て、これらのことをこの世で話しているのは、彼らがわたしの喜びを自ら満たしてくれるようにするためです。」

彼らが私の喜びを彼ら自身で満たしてくれるように。イエスは弟子たち全員が喜び、つまり完全な喜び、終わりのない喜びを味わうことを望んでおられました。ヨハネ 15:10-11にはこうあります。「もしあなたがわたしの戒めを守るなら、わたしが父の戒めを守り、父の愛のうちにとどまっているのと同じように、あなたもわたしの愛のうちにとどまることになります。私がこれらのことをあなたたちに話したのは、私の喜びがあなたの中にある、あなたの喜びが満たされるためです。」

1. マイルシティにいるあなたの兄弟姉妹たちが、イエスの内にとどまり、御言葉に従うときに、イエスの喜びを経験できるように、今日祈ってください。
2. わたしたちの礼拝の集まりが、他の人を救い主のもとに引き寄せる、神の善良さの喜びに満ちた祝賀会となるよう神にお願いしてください。聖金曜日と復活祭の礼拝に向けて、イエスを探し求めている人々を導くために今から祈り始めてください。
3. 私たちがこの世のことよりも神を喜んでいるのを子供たちが見て、私たちの喜びのゆえに神に引き寄せられるように祈ってください。

週

私たちの世界のために祈ります

21

日々

15日目

14節：「わたしは彼らにあなたの言葉を与えました。そして、わたしが世のものではないのと同じように、彼らも世のものではないので、世は彼らを憎んでいます。」

そして世界は彼らを憎んでいます。イエスはすでに弟子たちに、世が彼らを憎むだろうと警告していました。ヨハネ 3:19-20 にはこうあります。「そしてこれが裁きです。光が世に来ましたが、人々は自分たちの行いが悪かったので、光よりも闇を愛しました。というのは、邪悪な行いをする者は皆、光を憎み、その行いが暴露されることを恐れて、明るみに出ようとしなからである。」弟子たちが経験したことは現代でも繰り返されます。

1. 信仰ゆえに激しい迫害に耐えている世界中の兄弟姉妹を守り、支えてくださるよう神にお願いしてください。
2. 彼らの信仰と忍耐が暗闇の中にある人々への光となるように祈ってください。この復活祭を利用して、ご自身の栄光のために教会を建ててくださるよう神にお願いしてください。
3. 今日、私たちの内におられるキリストは確かに私たちの希望であり、私たちの内におられるキリストは世におられる方よりも偉大であることを神に感謝します(1ヨハネ4:4)。

16日目

15節：「彼らを世から取り除いてくださるようお願いするのではなく、悪者から守ってくださるようお願いします。」

彼らを邪悪な者から遠ざけてください。イエスは悪魔の働きを否定したり軽視したりしませんでした。彼は神が悪を打ち負かすことを許さないようにと祈りました。我々には殺そうとしている敵がいる、

盗む、そして破壊する。イエスは、「私たちが悪から救い出してください」と御父に願いなさいと言われました（マタイ6:13）。私たちは、私たち、私たちの家族、友人、そして彼の子供たちを世界中に送り届けてくれる神に頼っています。

- 1.あなたと世界中の兄弟姉妹が敵の計画に警戒できるように神にお願いしてください。誘惑に耐えられる信仰と勇気を与えてください。
- 2.特にサタンの拠点がある場所において、神が悪者からの救いをもたらしてくださるよう祈ってください。
- 3.神が私たちの祈りを聞いて答えてくださることを知って、叫び、救出を待つための自信と信仰を祈り求めてください。このイースターにマイルシティを利用して、邪悪な者からの解放を大胆に宣言してくださるよう神にお願いしてください。

17日目

17節: 「真理において彼らを神聖なものとしてください。あなたの言葉は真実です。」

彼らを真理において聖化してください。神はご自身が聖であると同時に、私たちも聖になるよう呼びかけておられます。エペソ人への手紙5章には次のように書かれています。

「キリストは教会を愛し、彼女のために身をささげました。それは、御言葉による水の洗いによって教会を清めて、教会を聖別するためでした。それは、教会を汚れや汚れのない輝かしいものとしてご自分に差し出すためでした」彼女が聖であり、傷のないものになるように」（25-27節）。

1. 神がご自身の栄光のために教会を聖化し、清め続けてくださるよう祈ってください。
2. 神の御言葉を説教し、人々に信仰と従順の生活を呼びかける忠実な牧師や教師を育ててくださるよう御父にお願いしてください。
3. 聖霊がこのイースターの週末を利用して、マイルシティ、そして世界中に大いなるリバイバルをもたらしてくれるよう祈ってください。

18日目

18節：「あなたが私を世に遣わしたように、私も彼らを世に遣わしました。」

そこで私は彼らを世に送り出しました。イエスは父によって遣わされました。弟子たちはイエスによって遣わされました。同じように、私たちが弟子を作るために遣わされています。マタイ 28:19-20 が私たちの使命です。「それで、行って、すべての国の人々を弟子にし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」

1. 神を知り、神を知らせる特権を与えて神を賛美しましょう。
2. 弟子を作る弟子となるよう聖霊の呼びかけに身を委ねながら、聖霊があなたをどこに、誰に遣わすのかを示してくださるようお願いしてください。このリードを使用して、グッドフライデーとイースターの礼拝に他の人を招待してください。
3. マイルシティから多くの人々が国々に送られるように祈ってください。特に大学生や若者が、外出せよという呼びかけに降参できるように祈ってください。

19日目

20節：「わたしはこれらのことだけを求めているのではなく、言葉によってわたしを信じる人たちにも求めています。」

言葉を通して私を信じてくれる人々のために。イエスは、私たちの証言によって他の人たちがイエスを知り、信じるようになるだろうと予想し、約束さえされました。ローマ人への手紙 10:14-15 にはこう書かれています。そして、彼らは一度も聞いたことのないイエスをどうやって信じることができるのでしょうか？そして、誰かが説教せずにどうやって聞くことができるのでしょうか？そして、彼らは遣わされない限りどうやって説教するのでしょうか？「良いたよりを宣べ伝える人々の足は何と美しいのでしょうか！」と書いてあるとおりです。」

1. あなたが知っているまだ信じていない人たちのために祈ってください。彼らの名前を呼び、信仰をもって福音に応答するように神に導いてくださいと神に願いましょう。
2. 世界中で神の言葉が宣べ伝えられ、多くの人々がイエスを信じるようになりますように祈ってください。
3. 教会の植民地を立ち上げて、アメリカ全土および世界中、特に未到達の地域に福音を伝える教会が植樹されるように神に祈りましょう。

20日目

21節：「それは、父よ、あなたがわたしのうちにおられ、わたしもあなたの中におられるように、彼らがみな一つとなり、彼らもまたわたしたちの中にいて、あなたがわたしをお遣わしになったことを世が信じるためです。」

それらがすべて一つになるように。イエスは、ご自分と御父が愛のうちに生きたように、私たちが互いに愛に満たされて一致して生きることができるようにと熱心に祈りました。彼の愛に対する私たちの証しは、私たちのお互いへの愛によって証明されます。ヨハネ 13:35 はこう述べています。「もしあなたたちが互いに愛しているなら、これによってすべての人はあなたたちが私の弟子であることを知るでしょう。」

1. キリストとの結びつきによって、私たちが福音を分かち合い、周りの人々に良いたよりを聞くよう招く機会を探すよう強いられるように祈ってください。
2. 私たちも、世界中の兄弟姉妹たちとともに、謙虚さと愛を持って互いに行動し、他の人のために自らの命を喜んで捨てることができるように祈ってください。
3. 見守る世界のために神の愛を示す、マイルシティに統一された多民族教会を成長させるよう神にお願いしてください。

21日目

24－26節: 「父よ、あなたが私に与えてくださった彼らも、私がいる場所で私と一緒にいて、天地の基が置かれる前に私を愛してくださったためにあなたが私に与えてくださった私の栄光を見ることができるよう願っています。おお義なる父よ、たとえ世があなたを知らなくても、私はあなたを知っており、彼らはあなたが私を遣わしたことを知っています。あなたが私を愛してくださった愛が彼らの中にあり、私も彼らの中にあるように、私はあなたの名前を彼らに知らせました、そして私はこれからもそれを知らせ続けます。」

父よ、私は彼らも…私の栄光を見るために、私がいる場所に一緒にいてほしいと願っています。なんと信じられない思いでしょう。いつか私たちは彼と直接会うことになるでしょう。私たちは彼の栄光のすべてを見て、彼のようになるでしょう。ヨハネ第一 3:2-3 にはこう書かれています。しかし、私たちは、彼が現れるとき、私たちも彼のようになることを知っています。なぜなら、私たちは彼をありのままに見るからです。そして、このように彼に期待する人は皆、彼が純粹であるように自分自身を清めます。」

1. 聖霊によって、あらゆる部族の言語や国の人々に福音を知り、信じるように絶えず呼び掛けておられる神を賛美しましょう。
2. 世がイエスが神の子であると信じるができるように、ご自分の民をご自分とお互いへの愛で満たして下さるよう神にお願いしてください。
3. イエスの再臨を待ちながら、世界中の神の民が義と聖さを追い求め続けるように祈ってください。
4. 来るべきイースターの週末を利用して、礼拝に招待した人々の心に届くよう神にお願いしてください。

次は何ですか？

3週間の祈りと断食を終えたら、次は何をするでしょうか？私たちが確かに知っているのは、神がご自身を現し、私たちに語ってくださるという私たちの必要性が減っていないということです。神が私たちを守り、養い、私たちのために働いてくださることなしには、私たちは生きていくことはできません。私たちはより強い決意を持って、彼の顔を求めて突き進みたいと思っています。

祈りはどうでしょうか？新しい習慣やパターンを確立した場合は、それらの祈りの習慣を日常生活の一部にし続けることをお勧めします。この21日間が難しいと感じたとしても、今すぐに諦めないでください。祈りのうちに神を求めるよう自分を律するために、頑張ってください。

断食はどうですか？気を散らすものや一時的な喜びから目を背け、神のうちに満足感を得ることで、神を追い求め続けることができます。私たちは今後も皆さんに断食を呼びかけ、定期的に断食と祈りの日を設けるよう呼びかけていきます。これは私たちを神に頼るよう促す霊的訓練の重要な部分です。私たちは数え切れないほどの皆さんから、断食を断念したことで神をさらに知ることができたので、さまざまな形で断食を続けるつもりだと聞いています。

私たちは、あなたが21日間祈りの中で神を求めたとき、神があなたの内に何かをしてくださったと確信しています。私たちはしばしば新しい言葉や新鮮な啓示を探していますが、昨日の言葉を軽蔑しないでください。ちょっと待ってください。あなたが見たこと、神から聞いたことを書き留めてください。他の人と共有してください。神の恵みはあなたにも分け与えられるべきです。

マイルシティの家族の皆さん、この21日間、一緒に断食して祈ることができて本当にうれしいです。私たちが神の内に留まり続けるにつれて、神は私たちの内に、そして私たちを通して、ご自身の栄光のために働き続けてくださると私たちは確信しています。この時間が皆さんに他の人を招待し、聖金曜日と復活祭の礼拝に向けて心の準備をするよう促してくれたことを願っています。

トラビス・ウィテカー

21

マイルシティ教会主任牧師、トラビス・ウィテカー

このリソースの使用を快く許可してくれたノースカロライナ州サミット教会の友人に多大な感謝を申し上げます

